

公共事業事前評価調書

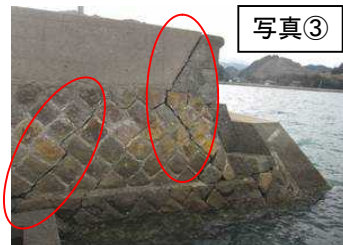
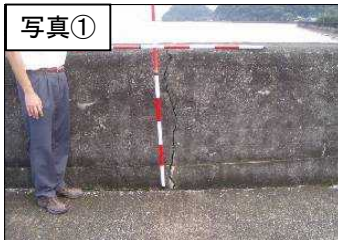
[記入責任者職名 農地整備課 大石 二郎]

事業プロフィール

【事業概要】

ふりがな 事業名	いちちょうだ 地区 一町田 地区 県営 海岸保全事業
事業箇所	天草市河浦町一町田地先
事業担当課(室)	計画 : 農林水産部 農地整備課 (防災班 内線 5476) 実施 : 農林水産部 農地整備課 (防災班 内線 5476)
事業期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)
総事業費	549.0 百万円 (うち県費 247.0 百万円)
事業内容	堤防工 L=1,971m、漏水防止工1式
事業目的	台風による高潮や高波による浸水被害から背後地の農地とそこで展開される農業生産活動及び人命、財産等を守り、食料の安定供給の確保と安全な農村地域の形成を図る。

【現況写真】



(事業着手前の状況)

【写真①】

・現況天端高が不足している。
(現況TP.3.38m→計画TP.4.0m)

【写真②】

・パラペットのひび割れがみられる。

【写真③】

・表法被覆部のひび割れがみられる。

【写真④】

・満潮時に裏法被覆部からの漏水がみられる。

【 検討状況 】

技術的難易度	標準的な工法で実施可能
費用便益比	B/C = 1.6
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	<p>本県では海岸保全基本計画に基づき、概ね30年に1度発生する規模の高潮を目標に施設整備を進めている。このため、本地区についても現況堤防高が不足することから高潮対策により施設の改良を行う必要がある。</p> <p>また、想定最大高潮(概ね100年に1度発生する高潮)に対してはソフト対策を充実することとしており、これを受けて、平成22年3月に天草市は高潮ハザードマップを作成・公表している。</p>
関係法令等の手続きの把握・完了状況	該当なし

【 周辺状況 】

関連事業	該当なし
市町村、地元の状況	<p>現況の施設については、天端高の不足や漏水等が確認されており、天草市から早急な整備の要望がなされている。本事業は高潮や波浪による被害から海岸を防護するものであり、本事業に対する地元期待は大きい。</p>
説明会の開催状況と関係者の意向	天草市の意見を聴取して事業計画書を作成している。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。 対象事業実施区域及びその周辺では、一町田川と路木川の河口部にまとまった面積の干潟がみられ、その前面を中心としてアマモ場が分布している。 このため、工事完成後と工事中の影響予測を行い、環境保全目標や環境保全対策を定め、干潟、藻場生態系への影響を低減させる環境保全措置（濁水流出抑制など）を検討する。	有
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変（切土、盛土）、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価表

①基礎的事項の評価: 評点 I

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
基礎的事項	下記のすべての項目を満たすこと	60		60
地元推進体制の推進	①地元に対する事業計画内容、負担金等の説明		○	
	②関係市町村の事業推進体制		○	
	③関係漁協との協議(予備)		該当なし	
事業関係者、関係機関との協議、調整	①関係機関等との調整		○	
事業内容	①要綱・要領等に規定された事業内容、採択要件への適合		○	
	②関係法令、基準等への適合		○	
	③地形、地質、水利状況等からみた、技術的可能性		○	
必要性～計画の検討度	①すべての項目でE評価を満たすこと	○		
		60	評点 I 計	60

②必要性(重要性)、緊急性、事業効果(効率性)、計画の検討度の評価: 評点 II

a=4点、b=3点、c=2点、d=1点、e=0点

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
必要性(重要性)	①各種計画への位置づけ(事業計画の位置付け)	4	b	3
	②事業の広域性(市町村合併支援)	4	d	1
	③地域の状況(過疎、振興山村、離島振興、半島振興、特定農山村の指定: 特定地)	4	a	4
	④防護区域内の重要施設の有無(市町村役場、警察署、消防署、病院等)	4	c	2
	⑤当該区域に対する影響	4	c	2
	⑥防護区域内の防護人口	4	e	0
		24	計	12

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
緊急性	①周辺農地や宅地等への被害の可能性(防災事業対象)	4	c	2
		4	計	2

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
事業効果(効率性)	①費用対効果の算定	4	a	4
		4	計	4

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
計画の検討度	①環境面又は利用面での検討	4	c	2
		4	計	2

項目数		評点計	/	配点計	*	40	=	評点 II
9		20		36				22
(必要性(重要性)～計画の検討度の評価: 評点 II の配点40点)								

③総合評点

評点 I	+	評点 II	=	総合評点
60		22		82